

## 褥瘡対策チームによる介護老人保健施設への褥瘡回診の試み

社会医療法人社団沼南会 沼隈病院  
褥瘡対策委員会 看護師 山本 範子

### 目的

当関連施設の介護老人保健施設（以下老健）の利用者は褥瘡を発生した場合、外来受診し診断・治療を受け、日々の処置は老健看護職員により行われている。褥瘡対策チームは会議で報告を受け、褥瘡発生者の評価とケア等の検討を行っていた。そこで、会議での報告を待つのではなく、褥瘡対策チーム（専任医師：形成外科医・専任看護師・理学療法士・栄養管理士・薬剤師）による回診をおこない、利用者の褥瘡処置のみならず栄養やスキンケア、ポジショニング等への相談・指導を開始することとした。その結果を報告する。

### 方法

褥瘡回診を1回/月

- 1) 回診対象患者：褥瘡保有者及び、老健スタッフが選定した利用者
- 2) 褥瘡処置やケア等を老健スタッフと共に行い、実技をもとに指導する。

### 結果

褥瘡かどうか判断にまよい外来受診までにはいたらずケア・処置に悩んでいるケースや、外来受診時の医師の指示が正しく伝わっていないケースがある事がわかった。一症例ずつ解説・指導を行うことで、老健スタッフの理解を得られた。

褥瘡対策チームメンバーは老健に回診をすることで、老健の環境を知ることができ退院時指導について考えるきっかけとなった。

### 考察

褥瘡回診は病院においては、褥瘡対策チームと病棟スタッフが多職種協働で行うことで効果は出ている。老健で褥瘡対策チームが回診をおこなうことは、老健スタッフに技術・知識習得の機会となる。このことは老健利用者への安全な療養環境づくりへのサポートであり、老健スタッフへのOJTにつながると考える。

# 褥瘡対策チームによる 介護老人保健施設への 褥瘡回診の試み

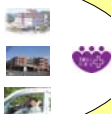
社会医療法人社団沼南会 沼隈病院  
褥瘡対策委員会  
山本範子

2

## 沼南会・まり福祉会

### 《在宅訪問事業》

訪問診療  
まり訪問看護ステーション  
まり訪問介護ステーション



### 《まり高齢者福祉施設（山南）》

まり介護付高齢者住宅 山南 36室  
まりショートステイ 山南 30床  
まりデイケア 山南 定員 60名  
山南クリニック



### 《病院・施設》

常石医院  
沼隈病院  
119救



### 《入居事業》

GHぬまぐま  
まりホーム熊野  
まりホーム内海



### 《住宅生活支援事業》

介護老人保健施設ぬまぐま  
入居 定員 40名  
沼隈119救 定員 40名



### 《在宅生活支援事業》

まり居宅介護支援事業所  
山南居宅介護支援事業所



### 《在宅生活支援事業》

まりデイサービス内海  
定員 40名



広島県福山市沼隈町大字中山南445番地09  
<http://shounankai.or.jp/>



## 褥瘡対策委員会の活動

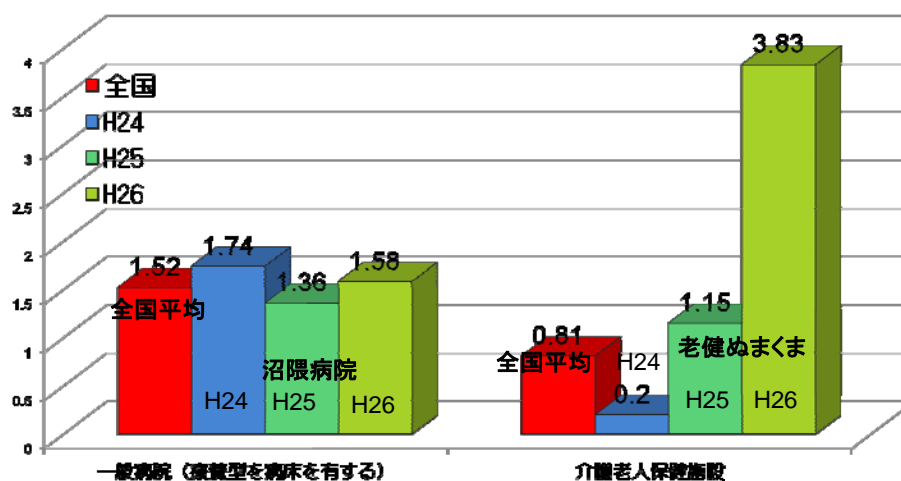


- 運営会議を月1回開催  
患者・利用者の褥瘡の  
評価とケア方法の検討
- 全職員対象の勉強会開催
- 褥瘡対策チームによる  
病院の褥瘡回診

褥瘡対策チームの構成  
専任医師: 形成外科医  
・看護師・管理栄養士  
・薬剤師・理学療法士



## H24年度日本褥瘡学会実態調査委員会報告 全国の褥瘡推定発生率との比較



- 褥瘡対策チームは老健からの褥瘡に関する報告を会議で待つのではなく、褥瘡対策チームによる回診をおこなう
- 回診は指導・相談を中心とする
- 老健利用者の褥瘡処置および、栄養やスキンケア、ポジショニング等の指導・相談をおこなう

## 対象者

- 老健入所中の褥瘡保有者
- 老健スタッフが選定した利用者

## 方法

- 褥瘡回診は月1回
- 褥瘡処置やケアを老健スタッフと共に行い、実技をもとに指導

## 研究期間

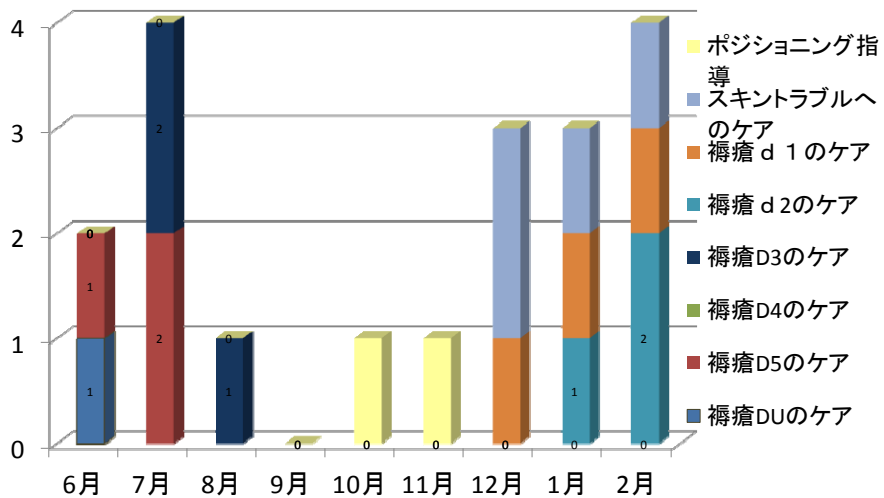
- 研究期間 H27年6月からH28年2月

## 褥瘡評価

DESING-R<sup>®</sup> を使用

## 結果

### 老健褥瘡回診 実績



## 考察

- 老健スタッフは、褥瘡と判断できない症例がある
- 様子を見るうちに深い褥瘡へ悪化する症例があることも考えられる

- 回診は老健スタッフの知識・技術を確認しながら利用者個々に合わせたケア習得の機会となった
- 老健スタッフは日々の業務の中での利用者の皮膚の変化の気付きを老健の褥瘡対策委員へ報告・相談することが増えた
- 褥瘡回診はOJT (On the job Training) にもつながり有効であると考え

## 褥瘡対策チームの気づき

- 入院中にスキントラブル発生し早期解決した場合は、どの様な時にトラブルを起こしやすく、有効なケア方法があれば 次に生かせる情報であることが分かった
- 退院指導を考え直すきっかけとなった

## 今後の課題

老健への褥瘡回診の適正な回数を検討することが残っている

## 結論

褥瘡対策チームによる褥瘡回診は

老健利用者への安全な

療養環境づくりへのサポートとなる

